

取組概要

明治小学校では、「ふるさとを愛し、豊かな心と学ぶ意欲をもち、自ら『気づき・考え・行動できる』たくましい子どもの育成」を目指し、協育コーディネーター等との連携を図りながら、生徒指導の3機能を意識しつつ地域のひと・もの・ことを生かした体験活動、教科等横断的な学習活動、表現力の育成に向け取り組みを進めている。

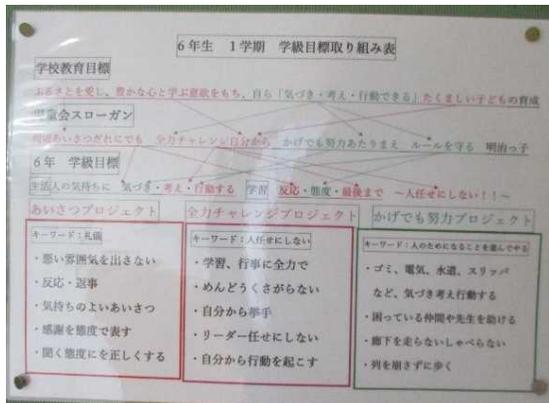
工夫・ポイント

【学校マネジメントの工夫】

- ◆協育コーディネーター等との連携により、「ふるさと弥生、佐伯が好き」（ふるさとに誇りをもつ）児童の育成に向けた体験活動等の充実を図り、その体験活動を表現活動に生かし、教科等横断に加え教科融合的なカリキュラム編成に挑戦している。
- ◆運営委員会及び各分掌会議において4点セット等に係る検討や重点目標と各教員の目標管理シートを連動させ、ミドルリーダーとして役割と責任の自覚を促している。また、運営委員会や検証・改善場面を主任の人材育成の場として位置付け、組織的な取組を推進している。

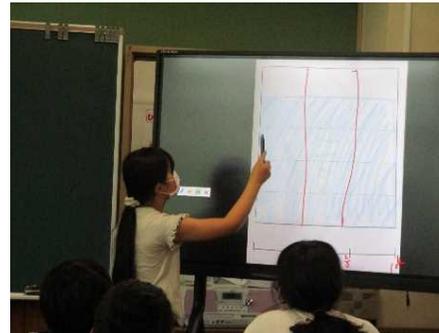
働き方改革の工夫

- ◆見通しをもって業務遂行ができるよう、月行事予定を早めに周知したり、提案前の声かけを行ったりしている。また、ICT（one note）を活用した情報共有も迅速にできる仕組みを整えている。



学校の教育目標、児童会スローガン、学年目標を関連付け、具体的な取組を設定し、児童が自覚できるようにする工夫（6年生）

授業づくりの工夫



「聞き方名人」の取組を全学年で統一し、聞き手は発表する人の方を必ず向いて最後まで聞く発表者に視線が集まる

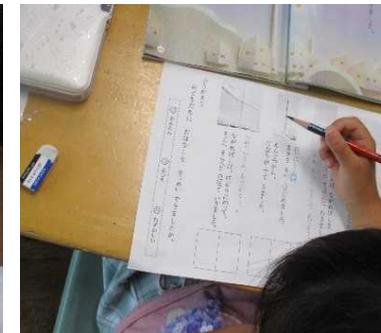
表現力の育成・学習規律の徹底に向けた取組



ノート指導等の工夫



自分で創るノート



ふりかえりを位置付けたワークシート（1年生）



考えをもつための教具の工夫